

《担当者名》柴山 良彦 (薬) siba@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

薬物は医療・介護・福祉の支援を必要とする人々には欠かせないモノである。福祉専門職が保健医療サービスを提供する関係者と協働し、業務の連携を調整する際には薬物療法の知識が欠かせない。この講義では福祉専門職として活動する際に必要となる薬物療法の概要を習得する。

【学修目標】

薬物療法の目的、有効性、安全性について概説できる。
 医薬品の正しい取り扱いについて概説できる。
 薬物療法における社会福祉専門職の役割について概説できる。
 代表的な疾患と、その治療・診断に用いる薬物について概説できる。
 保険診療における適正な薬物療法について概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	薬物療法の目的	医薬品の概要、薬物療法の有効性、安全性について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
2	各医療職の役割と責任	医療・介護・福祉分野における医師、薬剤師、社会福祉士、精神保健福祉士等の医療・福祉専門職の役割について概説できる。 関連するカリキュラム領域 6. ソーシャルワークの基盤と専門職	柴山
3	薬の生体に対する作用：薬力学	生体における薬の作用点である受容体、薬物が受容体に及ぼす作用について理解する。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
4	生体の薬に対する作用：薬物動態学	薬物を安全かつ効果的に効かせるには投与量と投与間隔を調整すること、薬物相互作用に注意する必要性があることを理解する。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
5	医薬品の正しい取り扱い：各種製剤の特徴	薬物を有効・安全に使用するための製剤化の目的を理解する。代表的な製剤の特徴を概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
6	鎮痛薬・抗菌薬	代表的な疼痛、発熱、感染症の病態と、その治療に用いる鎮痛薬、抗菌薬について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
7	中枢神経、精神、認知に作用する薬	不眠症、うつ病、統合失調症、てんかん、パーキンソン病、認知症などの病態と、その治療薬について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
8	循環器、血液に作用する薬	循環器疾患、血液凝固異常症、貧血などの病態と、その治療薬について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
9	内分泌、消化器、骨に作用する薬	脂質異常症、糖尿病、骨粗鬆症、関節リウマチ、消化器疾患などの病態と、その治療薬について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
10	呼吸器、泌尿器に作用する薬	慢性腎臓病、排尿障害、高尿酸血症、肺炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患などの病態と、その治療薬について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
11	感覚器、皮膚に作用する薬	眼科、耳鼻科、皮膚科領域における代表的な病態と、その治療薬について概説できる。	柴山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	
12	悪性腫瘍の薬物療法	消化器、呼吸器、乳腺、血液など、各臓器に発生する代表的な悪性腫瘍の病態と、その治療薬について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論	柴山
13	高齢者の薬物療法	高齢者特有の生理的な変化に伴う病態生理の変化と、薬物治療を行う上での注意点を概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論 13. 高齢者福祉	柴山
14	取り扱いに特別な注意が必要な医薬品類	麻薬や向精神薬など、取り扱いの際に特別な注意が必要な医薬品等について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論 19. 刑事司法と福祉	柴山
15	保険診療と関係法規	医療・介護・福祉における薬物に関わる関係法規と、適正な保険診療について概説できる。 関連するカリキュラム領域 1. 医学概論 12. 社会保障 13. 高齢者福祉 17. 保険医療と福祉	柴山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（80％）とレポート（20％）。レポートの課題として福祉専門職が関与する薬物療法の症例をいくつか提示する。その中の1つの症例について病態・薬物療法の概要を記載し、社会福祉専門職としてどのような介入ができるか、意見を記述する。

【教科書】

担当者が資料を配布する。

【参考書】

治療薬マニュアル2025年版 医学書院 北海道医療大学図書館ホームページ データベースに掲載

新臨床内科学 第10版 医学書院 北海道医療大学図書館ホームページ データベースに掲載

今日の治療指針 医学書院 北海道医療大学図書館ホームページ データベースに掲載

【備考】

治療薬マニュアル、新臨床内科学を含む総合診療データベースである「今日の診療」は総合図書館ホームページからアクセス可能である。授業資料の配付はGlexaを利用する。

【学修の準備】

配布を事前に読んでおくこと。（予習1時間）

提示した課題についてレポートを作成すること。（復習3時間）

毎回授業の最初に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておく。（復習1時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

薬剤師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験（臨床薬理学指導薬剤師、がん指導薬剤師、病院・薬局での調剤）を活かし、薬剤師と他の医療専門職との連携について基本的知識を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している